



↑普段入ることができない知事室で、伊藤知事と話しをする笑顔の生徒たち

←県議会の議事場で、議長席に座るなど貴重な体験をする女子生徒

★獅子島中学校校外社会科見学 県庁と県議会で初めての体験

獅子島中学校（祖母仁田政明校長）は10月3日、校外社会科見学を行い、鹿児島県庁と鹿児島県議会を視察しました。

この日は、全校生徒の14人と教員7人が参加。日ごろ足を運ぶことができない県の行政機関などを見て回りました。

県議会では、9月議会最終日の傍聴と、閉会後には議場で議長や議員、県執行部などの席に座る許可をもらい、感触を実感していました。

県庁では知事室を訪れ、伊藤知事と獅子島の生活やアオサなどの特産品、部活動などの会話をしました。

伊藤知事は「これからはいろいろなことに興味を持って頑張って」と激励の言葉を送りました。

2年の池田翔くんは「県議会と県庁は初めてで、見学できうれしかった。伊藤知事との会話も楽しかった」と貴重な体験に喜んでいました。

掛け声をあわせ大綱を引く子どもたち↓



★城川内子供会育成会の十五夜行事 地域に伝わる伝統大綱を引く

城川内子供会育成会は、十五夜行事の大綱引きと相撲大会を10月1日、城川内小学校運動場で行いました。

この取り組みは、地域の伝統を継承するため育成会行事の一環で行われ、大綱は、前日に保護者らがくずとわらで直径30センチほどに編みました。相撲大会では大人顔負けの相撲を組むちびっ子力士の姿が見られ、にぎやかな一夜となりました。この日は、晴天に恵まれたことから夜空を見上げるときれいな名月も見れ、子どもも大人もその月に見入っていました。

参加した酒井愛加さんは「お父さんたちが作ってくれた大綱は頑丈に作られ大きくて重たい。普通の綱引きとは違った楽しさがある」と綱を引く手に力を込めていました。